

第41期中間事業報告書

平成13年4月1日～平成13年9月30日

株式会社島精機製作所

# Message from the President

## 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第41期中間期（平成13年4月1日から平成13年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間期におきましては、海外市場では、香港、韓国などのアジア地域が好調で、イタリアを中心としたヨーロッパ市場も堅調な推移を示すなど、売上は引続き高水準を維持しました。一方、国内市場では、景気後退色が強まる状況下で、ニット・アパレル業界をとりまく環境は依然として厳しいものの、売上高は前期比微増となりました。

その結果、当中間期の売上高は、192億80百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

利益面につきましては、全社的にコストダウンを積極的に推進した結果、営業利益は27億65百万円（前年同期比21.1%増）となりました。経常利益は、為替相場が安定して推移したことや為替リスクヘッジに努め

たことにより、為替差損が大幅に減少した結果、29億31百万円（前年同期比165.1%増）となり、中間純利益は16億円（前年同期比322.3%増）となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前年中間期同様1株につき15円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、海外市場においては、9月の米国同時多発テロ事件の影響で、景気の先行きは非常に厳しいものとなっております。北米向け輸出を主力とするアジア・中南米市場の減速は避けられず、紛争地域に隣接する中東市場への影響も必至の情勢と言えます。国内市場も個人消費の低迷や雇用情勢の悪化など、ニット・アパレル業界をとりまく環境は一段と厳しさを増しております。

このような事業環境のなか、当社は、独自のノウハウをユーザーにサポートすることで、ホールガーメント<sup>®</sup>（無縫製）横編機の市場への浸透を全社を挙げて推進するとともに、「SDS - ONE」をアパレル、小売業界におけるIT化の中核システムとして拡販に努めるなど業界の活性化を強力に進めてまいります。

また、為替リスクヘッジを継続し、グループ全般にわたる一層の合理化、効率化や製造コストの低減を図ることで、業績の向上、安定的な利益の確保に全力を傾注いたします。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと同様より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成13年12月

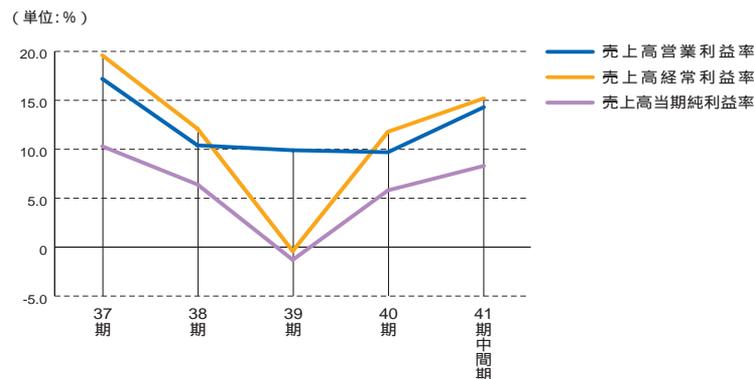
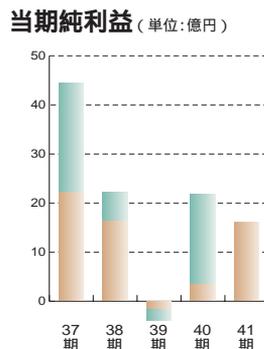
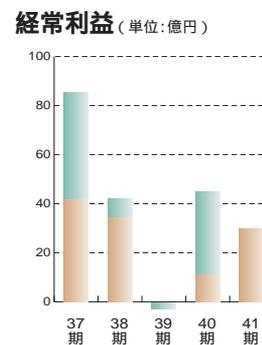
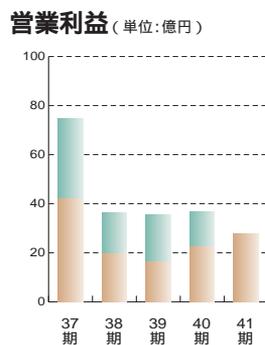
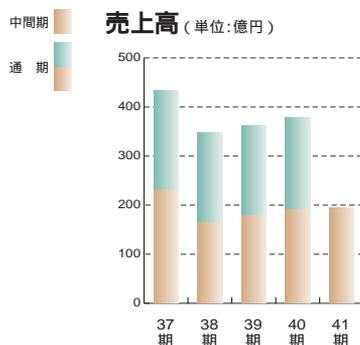
代表取締役社長

島 正博

## 決算ハイライト

	(単体)			(連結)		
	当中間期 (平成13年9月期)	前中間期 (平成12年9月期)	前 期 (平成13年3月期)	当中間期 (平成13年9月期)	前中間期 (平成12年9月期)	前 期 (平成13年3月期)
売上高(百万円)	19,280	19,193	37,920	21,132	19,868	39,784
営業利益(百万円)	2,765	2,284	3,654	3,368	2,641	4,666
経常利益(百万円)	2,931	1,105	4,476	3,296	1,275	5,117
中間当期純利益(百万円)	1,600	378	2,187	1,740	388	2,552
1株当たり中間当期純利益(円)	42.57	10.08	58.18	46.30	10.34	67.89
総資産(百万円)	95,289	94,432	94,873	99,929	98,272	99,068
純資産(百万円)	83,605	81,751	82,795	87,687	84,967	86,557

## 業績の推移 (単体)



## トピックス

### TECNO TMA 展開催

本年5月26日から30日まで、イタリアのボローニャにおいてTECNO TMA展が開催されました。このTECNO TMA展は、4年に一度開催される世界的な繊維機械の展示会で、当社からはホールガーマント<sup>®</sup>（無縫製）機の新機種を含む横編機の主要全機種、手袋編機、デザインシステムを出展いたしました。

これらの製品では、コスト削減や高付加価値体制の構築等、各市場ごとに求められるニーズに応え、先進の技術に基づく生産性や機能性の面で競合他社との差別化をはかり、積極的な提案を行なった結果、多くの受注に結びつけることができました。

また、当社では高い技術力を有する横編機のハード面だけにとどまらず、そこから生み出されるホールガーマント<sup>®</sup>やニューインテグラルといったニット製品



の企画・デザインなどのノウハウも含めて総合的に提案することで、ニット業界のみならず、アパレルビジネスの新たな可能性をアピールし、世界各国からの来場者を強くひきつけました。

さらに、従来主にニット用のCADとして利用されてきたデザインシステムを、「SDS - ONE」のデモを通じ、デザインワーク、プレゼンテーション向けとしても幅広く提案し、海外市場を含めたファッション産業におけるIT化の中核システムとして高い評価をいただきました。

これからも新しい魅力を創造する価値のある製品や技術の開発・提供に努め、ニット・アパレル業界の発展に寄与したいと考えております。



## 営業活動のご報告

### 横編機部門

当社の主力製品である横編機事業では、ユーザー業界に対しホールガメント<sup>®</sup>（無縫製）など21世紀に対応した魅力のある、新しいモノづくりのあり方を積極的に提案し、市場への浸透を図りました。その結果、国内市場におきましては、業界をとりまく環境は依然として厳しいものの、前期の実績を上回ることができました。

海外市場におきましては、アジア市場の香港が高水準の売上を維持し、イタリア、スペインをはじめとするヨーロッパ市場も堅調でしたが、中東のトルコや南米市場が厳しい状況となり、売上高は前期に比べ減少しました。

横編機事業全体としては、海外で従来機種を中心とした価格競争激化の影響があり、当中間期における売上高は138億90百万円（前年同期比4.5%減）となりました。



**SWG - FIRST**  
無縫製型コンピュータ横編機

### デザインシステム部門

デザインシステム関連事業では、ALL in ONE コンセプトのもと、ニット・アパレル業界のIT化の中核システムとして開発した「SDS - ONE」の販売に注力した結果、その高機能性と操作性の良さが高く評価され、当中間期における売上高は10億49百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

**SDS - ONE**  
デザインシステム



### 手袋靴下編機部門

手袋靴下編機事業では、国内においては景気低迷の影響を受け売上が減少した反面、韓国を中心とするアジア諸国においては、売上が大幅に伸びたことにより、当中間期における売上高は30億26百万円（前年同期比34.8%増）となりました。



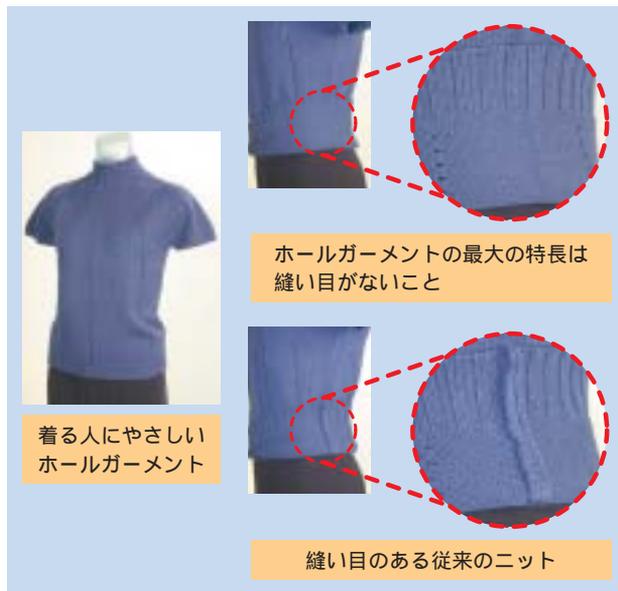
**NewSFG**  
シームレス手袋編機

# ホールガーメント<sup>®</sup>の魅力

ホールガーメント、それはニットウェア1着分を丸ごと1台の編機で編みだてることで、立体的なフォームでありながら、縫い合わせるという工程をなくした画期的な製品であり、最終消費者や生産者にとって従来の衣服にはなかった新しい魅力と価値があります。

## 1. 着る人へのやさしさ

ニットの特性である伸縮性、しかし従来製品では各部を縫い合わせることでニット特有の持ち味が抑えられることとなります。ホールガーメントではこの縫い合わせがないため、伸縮性に優れているうえ、ごわごわせずソフトな着心地やきれいなシルエットが得られ、軽く仕上がるなど着る人にとって大きなメリットがあります。



## 2. 労働集約型からの脱却

ホールガーメントを活用することで、ニット生産のあり方を大きく変えることが可能となります。

従来の編成方法では、製品に仕上げるためには必ず縫い合わせの工程が必要です。しかし、ホールガーメントではその工程がないため、ニット生産における効率化を実現し、リードタイムの大幅な短縮がはかれます。

また、縫い合わせ工程のための移動・運搬にかかる費用や時間も同時に削減でき、必要な量を必要な時に効率よく生産することができます。

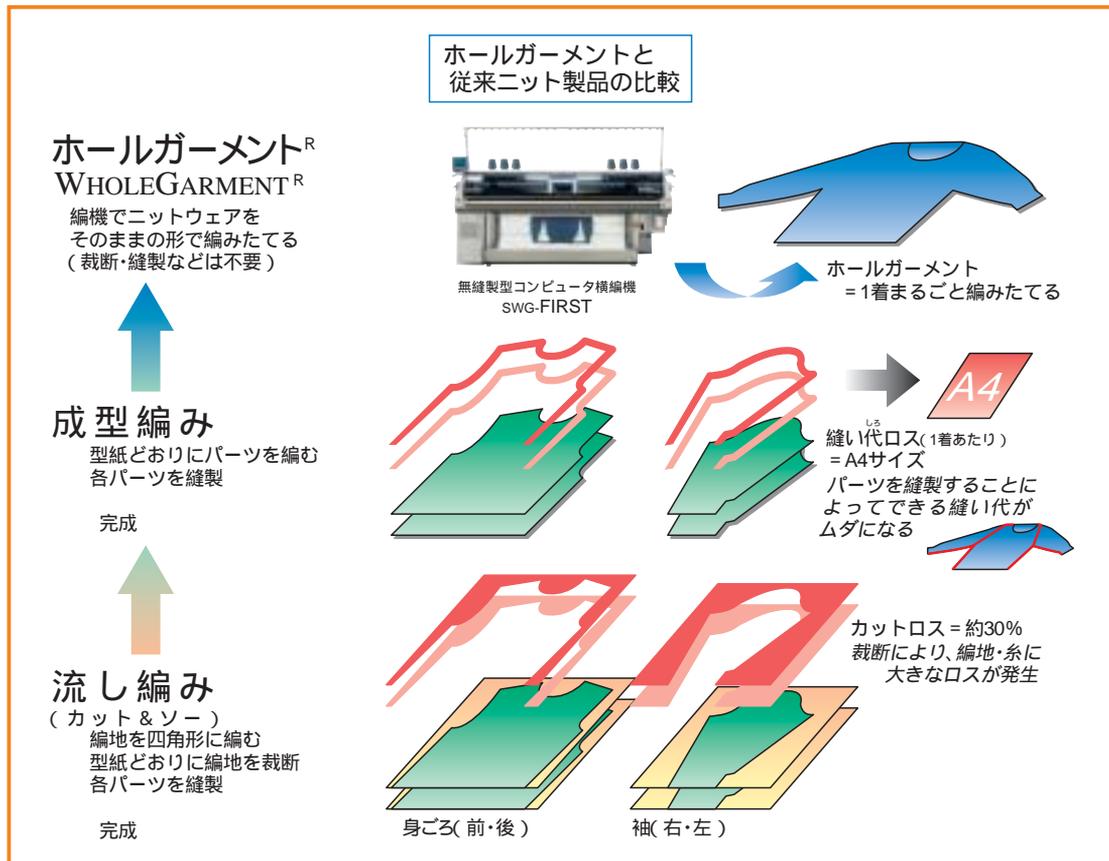
## 3. 地球環境への配慮

縫い合わせによってできるのが縫い代<sup>しゅうだい</sup>ですが、製品、サイズ等にもよりますが、一般的にパーツを縫製することにより、セーター1着あたりA4サイズの縫い代ロスが発生します。

また、流し編みの編成方法では四角形に編んだ生地を型紙通りに裁断するため、約30%ものカットロスが発生しています。

一方、ホールガーメントはこうしたロスがなく原材料を無駄なく使うという点で、省資源型の地球環境に配慮した製品と言えます。

このようにホールガーメントは単なる無縫製というだけでなく、さまざまなメリットを持っています。



ファッショントレンドに即したクリエイティブな製品を、人にも地球にもやさしく、さらに効率的なモノ作りのあり方を提供する、それがホールガーメントです。



WHOLEGARMENT<sup>®</sup>、ホールガーメント<sup>®</sup>は株式会社島精機製作所の登録商標です。

# Financial Data

## 財務データ

### 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成13年9月30日現在	平成12年9月30日現在	平成13年3月31日現在
<b>流動資産</b>	56,305	54,878	55,883
現金及び預金	4,456	5,682	6,508
受取手形金	34,426	30,423	31,065
売掛金	6,977	8,630	8,012
たな卸資産	9,750	9,557	9,642
その他の金	947	799	874
貸倒引当金	253	215	219
<b>固定資産</b>	38,984	39,554	38,990
有形固定資産	28,992	29,570	29,170
建物	5,817	6,092	5,824
土地	21,266	20,225	21,215
その他の	1,908	3,252	2,131
無形固定資産	123	104	132
投資その他の資産	9,868	9,879	9,686
投資有価証券	2,976	3,798	3,276
関係会社株式	2,481	2,141	2,141
その他の	6,225	4,813	6,072
貸倒引当金	1,815	874	1,804
<b>資産合計</b>	<b>95,289</b>	<b>94,432</b>	<b>94,873</b>
<b>流動負債</b>	10,441	11,606	10,821
支払手形金	793	3,929	2,474
買掛金	4,734	1,751	3,072
短期借入金		2,880	500
未払法人税等	1,216	104	1,526
賞与引当金	770	703	555
その他の	2,926	2,236	2,691
<b>固定負債</b>	1,242	1,075	1,257
退職給付引当金	1,242	1,075	1,257
<b>負債合計</b>	<b>11,684</b>	<b>12,681</b>	<b>12,078</b>
<b>資本準備金</b>	14,859	14,859	14,859
利益準備金	21,724	21,724	21,724
その他の剰余金	2,124	1,968	2,024
任意積立金	45,413	43,319	44,507
中間(当期)未処分利益	41,847	40,834	40,834
その他有価証券評価差額金	3,566	2,484	3,673
	516	119	320
<b>資本合計</b>	<b>83,605</b>	<b>81,751</b>	<b>82,795</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>95,289</b>	<b>94,432</b>	<b>94,873</b>

### 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成13年4月1日から平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から平成12年9月30日まで	平成12年4月1日から平成13年3月31日まで
<b>売上高</b>	19,280	19,193	37,920
売上原価	11,670	12,460	24,382
<b>売上総利益</b>	<b>7,610</b>	<b>6,733</b>	<b>13,537</b>
販売費及び一般管理費	4,844	4,448	9,883
<b>営業利益</b>	<b>2,765</b>	<b>2,284</b>	<b>3,654</b>
営業外収益	481	597	1,201
受取利息及び配当金	347	434	639
為替差益			263
その他	133	163	297
営業外費用	315	1,776	378
支払利息及び割引料	2	88	137
為替差損	251	1,597	
その他	62	90	241
<b>経常利益</b>	<b>2,931</b>	<b>1,105</b>	<b>4,476</b>
特別利益		11	11
特別損失	307	529	758
<b>税引前中間(当期)純利益</b>	<b>2,623</b>	<b>586</b>	<b>3,729</b>
法人税、住民税及び事業税	1,209	153	1,590
法人税等調整額	185	54	47
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>1,600</b>	<b>378</b>	<b>2,187</b>
前期繰越利益	1,966	2,105	2,105
中間配当額			563
中間配当に伴う利益準備金積立額			56
<b>中間(当期)未処分利益</b>	<b>3,566</b>	<b>2,484</b>	<b>3,673</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表の注記	(当中間期)	(前中間期)	(前 期)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	17,245百万円	16,837百万円	17,052百万円
2. 保証債務額	5,931百万円	7,329百万円	6,410百万円
3. 輸出手形割引高	1,684百万円	百万円	993百万円

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成13年9月30日現在	平成12年9月30日現在	平成13年3月31日現在
<b>流動資産</b>	61,343	59,158	60,423
現金及び預金	8,271	8,356	9,829
受取手形及び売掛金	40,844	38,403	38,401
たな卸資産	11,128	11,317	11,140
その他の	1,432	1,375	1,350
貸倒引当金	333	294	299
<b>固定資産</b>	38,586	39,114	38,644
有形固定資産	30,423	31,054	30,621
建物及び構築物	6,896	7,172	6,868
土地	21,506	20,461	21,453
その他	2,021	3,419	2,299
無形固定資産	134	116	143
投資その他の資産	8,027	7,943	7,879
その他の	9,856	8,825	9,682
貸倒引当金	1,829	882	1,803
<b>資産合計</b>	99,929	98,272	99,068
<b>流動負債</b>	10,608	11,846	10,842
支払手形及び買掛金	5,181	5,359	5,066
短期借入金	30	2,910	530
賞与引当金	906	826	654
その他の	4,490	2,749	4,591
<b>固定負債</b>	1,424	1,234	1,442
退職給付引当金	1,424	1,228	1,437
その他の		6	5
<b>負債合計</b>	12,032	13,081	12,284
<b>少数株主持分</b>	209	223	225
<b>資本金</b>	14,859	14,859	14,859
<b>本準備金</b>	21,724	21,724	21,724
<b>連結剰余金</b>	51,757	49,010	50,610
その他有価証券評価差額金	516	119	320
為替換算調整勘定	136	507	316
自己株式		0	0
<b>資本合計</b>	87,687	84,967	86,557
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	99,929	98,272	99,068

## 連結損益及び剰余金結合計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで	平成12年4月1日から 平成13年3月31日まで
<b>売上高</b>	21,132	19,868	39,784
<b>売上原価</b>	12,362	12,300	24,208
<b>売上総利益</b>	8,769	7,567	15,575
<b>販売費及び一般管理費</b>	5,400	4,926	10,909
<b>営業利益</b>	3,368	2,641	4,666
<b>営業外収益</b>	253	353	783
受取利息	181	268	515
為替差益			122
その他	71	84	146
<b>営業外費用</b>	325	1,718	332
支払利息	2	89	138
為替差損	280	1,564	
その他	42	64	193
<b>経常利益</b>	3,296	1,275	5,117
<b>特別利益</b>		11	11
<b>特別損失</b>	308	557	815
税金等調整前中間(当期)純利益	2,987	729	4,313
法人税、住民税及び事業税	1,418	306	1,911
法人税等調整額	174	32	155
少数株主利益	1	2	4
<b>中間(当期)純利益</b>	1,740	388	2,552
<b>連結剰余金期首残高</b>	50,610	49,374	49,374
<b>連結剰余金減少高</b>	593	751	1,315
<b>配当金</b>	563	751	1,315
<b>役員賞与</b>	30		
<b>連結剰余金中間(期末)残高</b>	51,757	49,010	50,610

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結貸借対照表の注記	(当中間期)	(前中間期)	(前 期)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	19,562百万円	19,059百万円	19,301百万円
2. 保証債務額	5,937百万円	7,322百万円	6,395百万円
3. 輸出手形割引高	1,684百万円	百万円	993百万円

# Stock Information

## 株式の状況(平成13年9月30日現在)

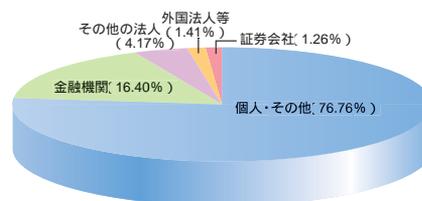
### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
島 正 博	5,780	15.37
後 藤 明 史	2,890	7.68
島 三 博	1,980	5.26
株式会社三和銀行	1,428	3.79
島 節 子	1,198	3.18
シマセイキ社員持株会	1,189	3.16
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	876	2.33
島 和 代	781	2.07
和島興産株式会社	700	1.86
後 藤 ひ ろ み	697	1.85

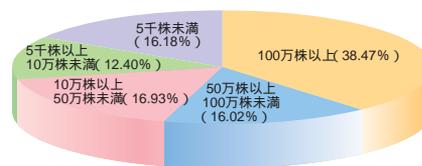
### 株式の状況

会社が発行する株式の総数 ..... 142,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 37,600,000株  
 当中間期末株主数 ..... 15,988名

### 所有者別分布



### 所有数別分布



## 株主優待のお知らせ

当社では毎年3月末日と9月末日を基準日として、単元株主様に株主優待を実施しております。本年3月期の株主様には特別企画品としてイタリア製レースをお届けいたしました。今回9月期の株主優待として、当社グループ企業が経営する南紀白浜「ホテル マーキーズ」のペア宿泊優待割引券(正規料金の30%引)を進呈いたします。

また、本年7月にオープンいたしました「マーキーズ サウステラス」の宿泊優待割引券(正規料金の30%引)も併せてお贈りいたします。

発行基準	有効期間	
	ホテル マーキーズ	マーキーズ サウステラス
100株以上	2枚	1枚
1,000株以上	4枚	1枚
3,000株以上	6枚	1枚
平成14年12月30日まで (但し、12月31日～1月2日、7月30日、8月10日～8月14日を除く)		

「サンセットディナー」(サウステラス)



和洋会席料理「冬花」(マーキーズ)



## 会社概要 (平成13年9月30日現在)

### 会社概要

商号	株式会社 島精機製作所
英訳名	SHIMA SEIKI MFG.,LTD.
本社	和歌山市坂田85番地
創立	昭和37年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員	1,025名
事業内容	コンピュータ横編機 シームレス手袋編機、靴下編機 コンピュータデザインシステム ニットCADシステム アパレルCAD / CAMシステム

### 役員

役名	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	島 正博	
常務取締役	田 中 雅 夫	経理部長
常務取締役	村 元 勝	輸出部長
取締役	岩 倉 煌 一	企画部長
取締役	京 谷 実	生産技術部長兼システム生産技術部長
取締役	有 本 博 行	資材部長
取締役	大 川 修	営業部長
取締役	森 田 敏 明	メカトロ開発部長
取締役	和 田 隆	製造技術部長
常勤監査役	巽 安 弘	
監査役	志 岐 正 純	
監査役	的 場 悠 紀	弁護士

(注) 監査役 的場悠紀は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

### 事業所

本社	和歌山市坂田85番地
支店	東京支店 (東京都中央区) 大阪支店 (大阪市北区) 名古屋支店 (名古屋市中区) 泉州支店 (大阪府泉大津市)

営業所	山形営業所 (山形県山形市) 福島営業所 (福島県伊達郡保原町) 新潟営業所 (新潟県五泉市) 甲府営業所 (山梨県中巨摩郡昭和町) 四国営業所 (香川県大川郡白鳥町)
海外支店	台北支店

## 株主メモ

決算期	毎年3月31日
配当金受取株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
株式事務取扱場所	
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 東洋信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 東洋信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話（フリーダイヤル）0120 - 68 - 4479
同 取 次 所	東洋信託銀行株式会社全国本支店

（お知らせ）

- 平成14年1月15日をもって、名義書換代理人東洋信託銀行株式会社は、商号変更により、UFJ信託銀行株式会社（登記上はユーエフジェイ信託銀行株式会社）となります。
- 商法改正（平成13年10月1日施行）に伴い、  
単位株制度が廃止され単元株制度になったことで、当社は100株を1単位としていましたが、10月1日から100株を1単元としました。  
なお、1単元未満の株式については、従来どおり買取請求することができます。  
また、株主総会の議決権の数え方が、100株で1個となります。  
当社の株式は1株の額面金額を50円としていましたが、10月1日から額面株式の制度が廃止されました。現在ご所有の株券は、従来どおり証券取引所において流通いたしますので、株券お引き換えの手続きは一切ご不要です。

# SHIMA SEIKI

株式会社島精機製作所  
和歌山市坂田85番地